

アグファ IJP導入業者レポート

当社は機種導入の際、今回の判断に間違いはなかった。その時代でベストの機械を選定しています。入れて良かった。



代表取締役専務 古庄修氏

テン工業株式会社

代表 代表取締役 社長 古庄 雄二
 創業 1965年1月15日
 資本金 2,000万円
 所在地 〒552-0001 大阪市港区波除 2-7-23

事業内容

各種デジタルプリント出力(屋外、屋内、電飾)
 /スクリーン印刷/旗、幕、のぼり/各種マー
 キング/POP制作

— 御社の創業はテント製造業とのことですが、IJPを導入された背景を教えてください。

当社は1965年にテント製造業として創業しました。納品時に必ず入る文字やマークは依頼ごとのオリジナルとなるのですが、当時は外注で対応していたため、お客様の希望納期に間に合わせる事が困難でした。そこで、カッティングシートとシルク印刷のマシンを導入し、内製の設備を整えました。

IJPを初めて導入したのは約20年前。それ以来、様々なメーカーの機種を導入しましたが、その中には失敗と言える機種もありました。しかし、その教訓を生かすことで、当社では機器導入にあたって常にベストな製品を選択することを心掛けるようになりました。ベストというのは製品の品質、生産性、密着、発色といった基本性能はもちろんのこと、しっかりサポートしてくれるメーカーであるかということも含まれます。導入して終わりではなく、導入後の製品メンテナンスで必ずお世話になるからです。

— 数あるプリンタの中からアグファの「:JETI タイタン」を導入した理由は何だったのでしょうか？

前述した基本性能とメンテナンス体制の安心感が第一に挙げられます。加えて、ハード、ソフト、インクすべての要素を自社で開発、製造、販売しているため、万一のトラブル時にもワンストップで問い合わせが出来る点に魅力を感じたからです。ブラダン、アルミ複合板の密着性も比較検討したプリンタの中で一番よかったですね。

— 導入されてからお仕事の仕方に変化はあったでしょうか？

入れ替え前の機種と比べて生産性が2~3倍に上がりました。おかげで納期が短縮され、受注当日の即日納品も可能となりました。これには社内の営業担当者からも好評を得ています。これまで短納期に対応するには、事前に印刷して在庫を積む必要があったのですが、生産性の向上により無駄な印刷が無くなったため、これらの在庫削減にもつながりました。

— 操作を担当する現場の方の反応はいかがですか？

操作性、運用についてはオペレーターからも満足の声が上がっています。印刷終了時に印刷テーブルからエアを吹き出し、印刷物を取りやすくするなど、オペレーターの立場に立って開発されていると感じます。

— 「:JETI タイタン」を活用した今後の展開について教えてください。

ロールも印刷できるので、以前の機種と比較して私たちににとっての新しい武器となりました。また、RIPソフトにまだまだ印刷前工程の改善の可能性があります。印刷前の工程を効率化して稼働率を更にあげたいですね。



アグファのフラットベッド UV インクジェット

:JETI TITAN

ジェットアイタイタン

印刷テーブル	3.2 x 2.0m
最高解像度	1200 dpi
最高生産性	226 m ² /時
カラー	CMYK、ライトシアン、ライトマゼンダ、白



ユニット株式会社

代表 代表取締役 社長 黒田 雄一郎
設立 1969年
資本金 1億円
所在地 〒173-0004 板橋区板橋 2-3-20

事業内容

安全標識、安全用品の企画、製造、販売



製造部 真戸原吉孝次長(右)と野口昇一課長(左)

プリンタがどんなに早くても、安定して動かなければ意味がない。その点、アグファのプリンタは今までで一番安心できます。

— 御社のご紹介と印刷設備を教えてくださいか？

現会長の黒田が興したデザイン会社で、建設現場向けに安全標識を制作・販売をはじめたことが当社の出発点です。それ以来、職場環境、生活環境における安全を啓蒙するための製品の企画・開発にこだわってきました。既定品と特注品を合わせて、常時 12,000 点以上の商品を提供しています。

仙台工場にスクリーン印刷機を設備し、埼玉工場はデジタル工場という位置づけで、水性、溶剤、ラテックス、昇華転写、UV と様々な IJP を 20 台ほど運用しています。

— 今回新たにアグファの IJP を導入された理由は？

以前は 2 台の 3.2m 機を運用していましたが、業務拡大に伴う生産力アップのため、機器の更新を検討したことがきっかけです。アグファさんとは 5 年前にドットリックス (アグファのシングルパス・インクジェットプリンター) を導入して以来のお付き合いですが、対応が素晴らしく、安心してお願いできると思えました。本体価格、インク価格も納得できるものでした。

— 溶剤、ラテックス、UV とインクの種類がある中で UV を選択された理由はどこにありますか？

UV プリンタでは一般的に色が沈む傾向があるのですが、「アナプルナ M3200RTR」は非常に発色が良かったですね。インクの消費量もこれまでの水性、溶剤プリンタに比べて少なく済んでいます。インクページの頻度の少なさが理由の 1 つかもしれません。

また、インクの乾燥に熱を必要としないので、印刷基材に対するダメージが少なくなりました。これまで苦労していた薄手のターポリンも難なく印刷できるようになり、長尺物を印刷した時にも色の安定性が優れていますね。

— 生産性についてはいかがですか？

確かに印刷スピードも速いですが、それ以上に大きいのはトラブルがないことです。どんなに速いプリンタでもトラブルが多くては意味がありません。「アナプルナ M3200RTR」は導入以来大きなトラブルもなく、これまで運用していたプリンタの中でも、指折りの安定感です。アグファの技術サポート力 (サービス・メンテナンス) は、5 年前からのお付き合いで信頼しています。大事な生産機を当日対応してもらえるのも非常に助かっています。

— アナプルナならではの取り組みがあるそうですね。

試したい印刷基材をすぐに試せるのも使ってみて良かった点です。これまでは新しい基材を試すまでに、多くの設定項目が必要で時間がかかっていましたが、今では通常業務を行いながら、気軽に様々な評価が可能となりました。今後新たな商品開発につながると期待しています。



アグファのロール専用 UV インクジェット

:ANAPURNA M3200i RTR

アナプルナ M3200i RTR

印刷幅	3.2 m
最高解像度	1440 dpi
最高生産性	123 m ² / 時
カラー	CMYK、ライトシアン、ライトマゼンタ

【お問い合わせ先】 日本アグファ・ゲバルト株式会社 ☎ 03-6420-2010